【記入要領】

※ 電子契約の場合は、印紙、押印不要

※ 印紙の上から消印を押す

捨印　※ 捨印を押すこと

消印　印　紙

鹿児島市水道局建設工事請負契約書

消しゴム・修正テープ等は使用不可

1　工　事　名　○○○○○工事

※ 指名通知書のとおり正確に記入
「ケ」、「ヶ」や「1」、「一」等注意

2　工　事　場　所　鹿児島市○○一丁目ほか

3　工　期　令和　年　月　日から
令和　年　月　日まで

※ 工程表に記載の工期と一致させること

4　請負代金額　¥○，○○○，○○○－

※ ¥と金額の間は詰めて記入（空白をあけないこと）
※ 金額の訂正は無効
※ 金額の後ろに「円也」の記入不要

うち取引に係る消費税及び地方消費税の額（１０％）
¥○○○，○○○－

※ 金額の後ろに「円也」の記入不要
※ 免税事業者は「－(横線)」を引くこと

5　契約保証金　¥

※ 未記入で提出（水道局職員が記入します）

6　解体工事に要する費用等

※ 未記入で提出（該当の場合、水道局職員が記入します）

7　建設発生土等の搬出先等　建設発生土の搬出先については仕様書に定めるとおり

この工事が資源の有効な利用の促進に関する法律（平成３年法律第４８号）の規定により再生資源利用促進計画書の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画書を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。

上記の工事について、発注者と受注者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、次の条項によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

本契約の証として本書２通を作成し、発注者及び受注者が記名押印の上、各自１通を保有する。

ただし、この契約を電子契約にて締結する場合においては、本契約の証として契約内容を記録した電磁的記録を作成し、発注者及び受注者の合意の後電子署名を行い、各自その電磁的記録を保管する。また、電子署名を行った日にかかわらず、この契約書に記載された契約締結日より効力を有するものとする。

令和　年　月　日

発注者　住　所　鹿児島市鴨池新町１番１０号
氏　名　鹿児島市
水道事業及び公共下水道事業管理者
水道局長　鬼　丸　泰　岳　印

※ 印鑑を鮮明に押すこと

受注者　住　所　鹿児島市○○町○○番○○号
商号又は名称　株式会社　○○建設
代表者氏名　代表取締役　○○　○○　印
適格請求書発行事業者登録番号

※ 代表者職名も記入すること

※ 適格請求書発行事業者登録番号を記入すること